

話題提供：上杉 聡  
(人権問題研究センター：特任教授)

新しい部落史が読み解く  
「JR杉本町駅東口と  
踏切」問題

無料

4月15日(水)  
午後1:00～3:00  
田中記念館  
2階会議室

お問い合わせはセンターまで  
06-6605-2035  
info@rchr.osaka-cu.ac.jp

部落差別のとりえ方は、ながく「士農工商えた非人」といわれ、「社会の最底辺」と位置づけられてきた。しかし近年、小・中学校の教科書からこれらの用語はほとんど消え、部落を「社会外」と位置づける見方が新たに広がっている。本報告では、こうした部落史研究の現状を紹介するとともに、新たな見解に対して他分野からの検討・吟味をお願いしたい。また、部落を「社会外」とする視点は、今大きく浮上してきた「JR杉本町駅東口と踏切」問題についても、新たな視界を開き、問題解決に大きく寄与すると思われる。この点についても関心ある方のご批判をいただきたい。